

ポーランド

中・東欧の
地域リーダー

投資家が ポーランドを選ぶべき 6つの理由

ポーランド投資貿易庁(PAIH)の理事長として 投資家から最も多く受ける質問は、 「なぜポーランドに投資すべきなのか」です

そこで、豊富な知識と経験を持つ当庁の専門家チームを召集し、質問に答えるべく、この出版物をまとめるように指示しました。この冊子では、ポーランドを選ぶべき沢山の理由の中から、5つを厳選しています。その内容はこのご挨拶の後にご紹介させていただきます。

実はここに6つ目の理由もあるのではないかと思います。それは、熱意にあふれた優秀なチームの存在です。チーム全員で、投資家の皆様に専門分野に沿った最高レベルのサポートを提供することに努めています。成功する事案に投資家を繋げることで、ひいてはポーランドの経済の促進にも一躍貢献しています。

近い将来、ポーランドで是非お会いしましょう。

クシシュトフ・ドリンダ



選ぶべき理由

その1

ポーランドの安定した経済
及びその投資ポテンシャル

1.

格付け会社からのGOサイン



ポーランドの格付け



ムーディーズ

MOODY'S
ANALYTICS



S&P

S&P Global
Ratings



フィッチ

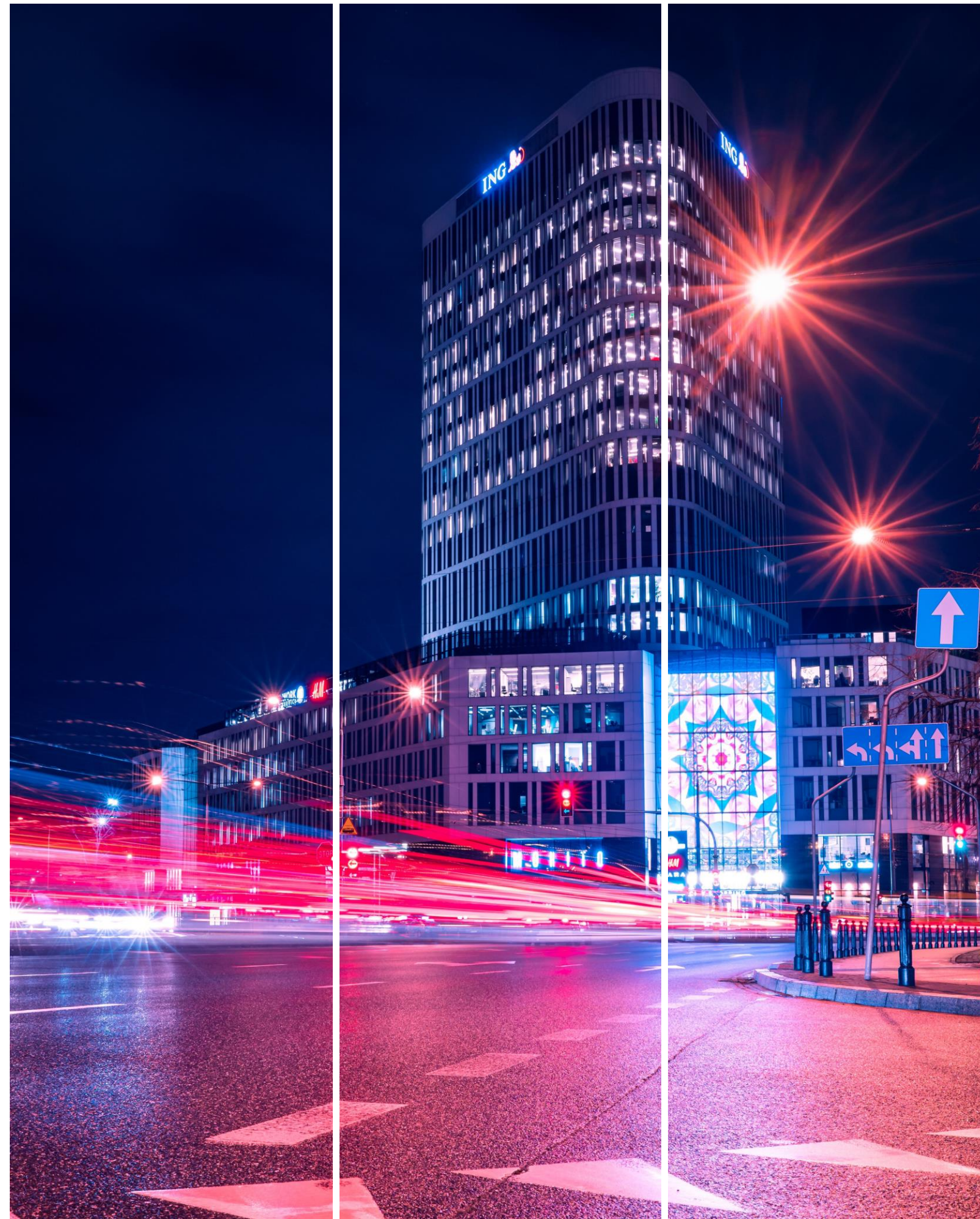
FitchRatings

2.

危機に対して強い

1989年以降、ポーランドは2001年に、一度だけ不況に見舞われているが、わずか数ヶ月で回復している。

2008年の金融危機の中でもポーランドのGDPが堅調に推移できたのは、経済が多様化して競争力を持っていたためであり、2020年の第1四半期でもポーランド経済は成長し、GDPは前年同期比2%増となりました。コロナ禍の時代には、経済的な後退は避けられませんが、長期的にはポーランドは比較的無傷で済むと経済学者は予測しています。ポーランド統計局の予備データによると2020年のGDP減少率は-2.8%にとどまり、欧州委員会の予測の-4.6%よりも小さくなっています。これにより、ポーランドの景気後退幅はEU諸国の中で最も小さくなっています。この30年間、ポーランドのGDP成長率は欧州で最も高い水準を維持しています。



3.

しっかりとしたマクロ経済

ポーランドは世界で最も安定した経済を抱え、最も急速に発展している国の一つです。

国際通貨基金(IMF)の試算では、1981年以降のポーランドの一人当たりのGDPは9倍以上増加しています。IMFは、ポーランドのGDPは更に急速に成長すると予測しています。

ポーランドの一人当たりのGDP

購買力平価

出所: WWW.CEICDATA.COM



*IMF forecast

4.

ビジネスに有利な環境

2020年 事業環境

	順位
ポーランド	40
チェコ	41
スロバキア	45
ハンガリー	52
ルーマニア	55
ブルガリア	61
サウジアラビア	62

2019年 世界競争力レポート

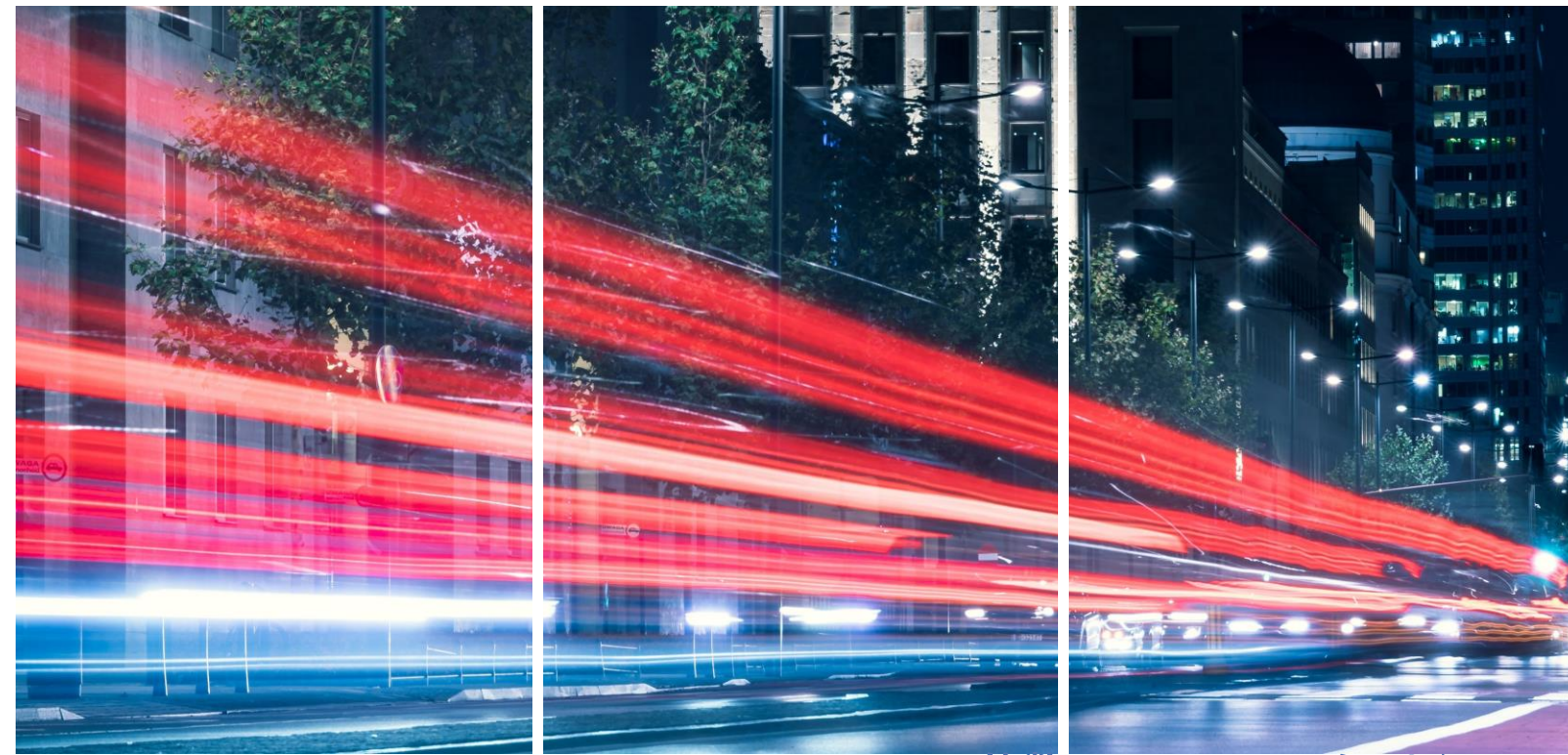
	順位
チェコ	32
ポーランド	37
スロバキア	42
ハンガリー	47
ブルガリア	49
ルーマニア	51

2020年 腐敗認識指数

	順位
ポーランド	45
チェコ	49
スロバキア	59
ブルガリア	69
ハンガリー	70
ルーマニア	74

ポーランドへの活発な投資は、ビジネスに有利な環境が整えられているからです。それを示すランキングがこちらです。

昨年の対内直接投資件数では、ポーランドは中央・東欧地域のトップ、欧州全体で7位となりました¹。



ヨーロッパにおける

外国直接投資の投資先

(EY)

順位	国名	FDIの件数 (2019年)	マーケットシェア (%)
1	フランス	1197	18.8
2	イギリス	1109	17.4
3	ドイツ	971	15.1
4	スペイン	486	7.6
5	ベルギー	267	4.2
6	オランダ	255	4
7	ポーランド	200	3.1
8	アイルランド	191	3
9	ロシア	191	3
10	トルコ	176	2.7

1. Europe's investment attractiveness in 2020, EY

2019年、ポーランドに対するグリーンフィールド投資額は218億ドルにもなり、中・東欧地域ではトップ、欧州でも3位にランクインしています。

コロナ禍でもこうした積極的な投資の勢いは衰えてません。FDI市場のアナリスト勢によりますと、2020年の最初の4ヶ月間で、ポーランド国内での新規投資は165件にのぼり、昨年同時期と比べ15%も増加しており、コロナ禍がポーランドへの今後の投資に与える影響は比較的小さいと思われます。2019年に発表された欧州の投資案件のうち、成功裏に完了するのは65%に過ぎず、それに対して、ポーランドの投資案件は80%以上成功するであろうと予測されています²。

欧州における 2019年 グリーンフィールド投資額 (FDI市場)



順位	国名	投資額 (単位:億米ドル)
1	イギリス	323
2	ロシア	236
3	ポーランド	218
4	ドイツ	192
5	スペイン	191
6	フランス	157

report.fdiintelligence.com/thankyou.html

5.

政府の投資支援

投資に対して国からサポートがあります。

ポーランドの投資ゾーン

企業に対する税制上の優遇措置がポーランド全域で実施されています。失業率の高い地域で展開される案件や、地域経済の競争力を上げる、革新性に寄与するなどのプロジェクトが優遇されます。また、ポーランド全土が経済特区に指定されています。これにより、ポーランド全土どこに投資しても法人税は免除されます。一定の基準を満たせば適用され、一定期間(通常10年から15年)は優遇策の恩恵を受けることができます。これは企業に対する免税期間としては中・東欧地域で最長となります。



研究開発費に対する減税

企業は、該当する経費を最大200% (R&D拠点は250%)まで課税ベースから控除することができます。この経費には賃金や給与、設備、科学研究用材料の購入などが含まれます。

「イノベーション・ボックス」税制

知的財産権の売買による所得には5%の優遇税率が適用されます。この優遇税率は、特許権の保護期間中全期に適用され、OECDのネクサス・アプローチにも完全に準拠しています。



ポーランド経済にとって重要性が極めて高い 投資企画への支援プログラム

政府の助成金プログラムでは、戦略的または革新的な製造に関わるプロジェクトや高度なサービス・センターのプロジェクト費用の最大20%を助成します。

ポーランド政府は、国内で活動する企業家のニーズや期待に大胆に応えます。積極的にビジネス支援する例として、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた企業を支援するために「危機防止シールド」という制度があります。この制度で、支援を必要とする企業には1000億PLN (約220億ユーロ)が用意されています。

6.

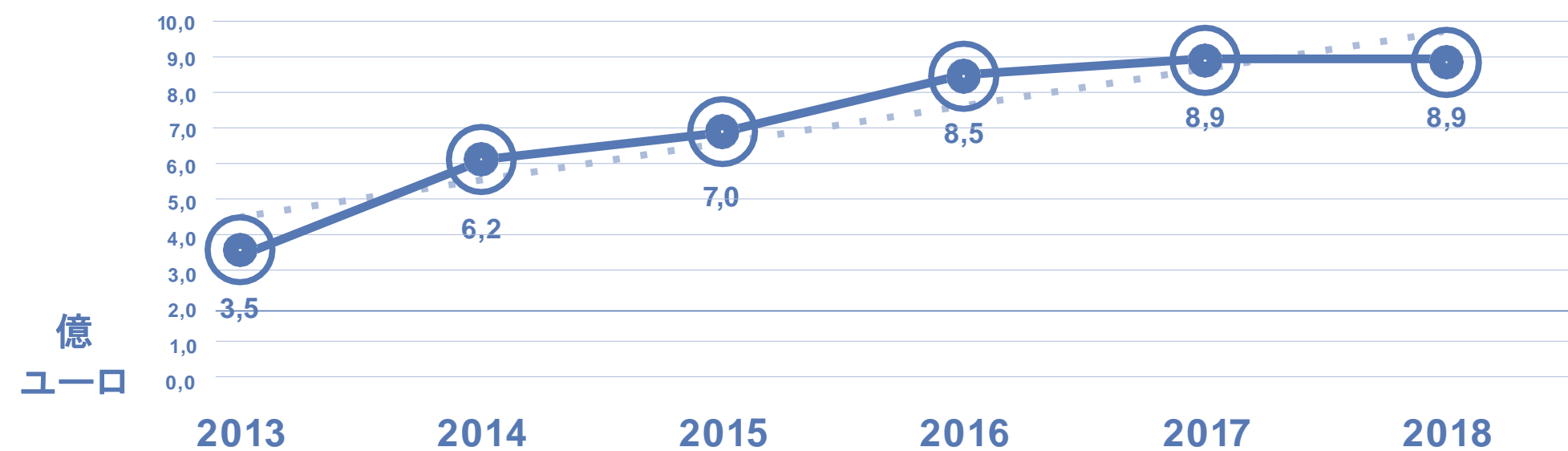
再投資

昨年³の投資環境³ にレポートによると、ポーランドに投資した外国人投資家の94%が再投資の意思表示をしています。投資家の皆様は、国内市場規模と経済の安定性がポーランドの主要な利点の一つであると考えています。

2013年から2018年にかけて、外国企業の再投資の規模は倍以上に増加し、35億ユーロから89億ユーロになりました。



外国企業による再投資の推移



3. Climate for Investments 2019、ポーランド投資貿易庁、Grand Thornton、HSBC

7.

欧州連合の支援

欧州連合への加盟こそ、ポーランドの法律・行政制度が安定性を保てる最大の保証です。

単一市場、自由貿易、市民の自由な移動、共通農業政策は、すべてポーランドの経済基盤の礎となっています。

ポーランドは、EUの財政プログラムの最大の受益国です。欧州理事会サミットで決定された通り、2021年から2027年の間に、ポーランドはEU予算から直接補助金と特権的融資の形で1730億ユーロを受け取ることになっています。ポーランドはまた、同じ時期にEUの結束政策プログラムの最大の受益国となり、668億ユーロを受け取ると予想されています。これらの資金の大部分は、ポーランド経済の革新性を高めるべく企業に提供されます。



66.8
億ユーロ
(2021年~2027年)

これまで、EUの結束政策において、2014年から2020年にかけてポーランドは860億ユーロ、2007年から2013年にかけては670億ユーロを受け取っています。

当時のEU基金は、環境、インフラ、エネルギー、教育、イノベーション、研究開発、再生、医療、文化の向上などに関連する業務を行う地域に提供されていました。

結束政策の最大の受益国であるポーランドは、新型コロナ危機の影響を受けても支援を期待することができます。新型コロナウイルスがポーランド経済に与える影響を軽減するために、総額373億ユーロに上るEUのイニシアティブの中から、最大の74億ユーロの資金が用意されています。

2007年～2013年間のEU基金による投資効果



研究センターと参加企業との連携による何千件というプロジェクトに対する支援

選ぶべき理由

その2

ポーランドの戦略的立地

1.

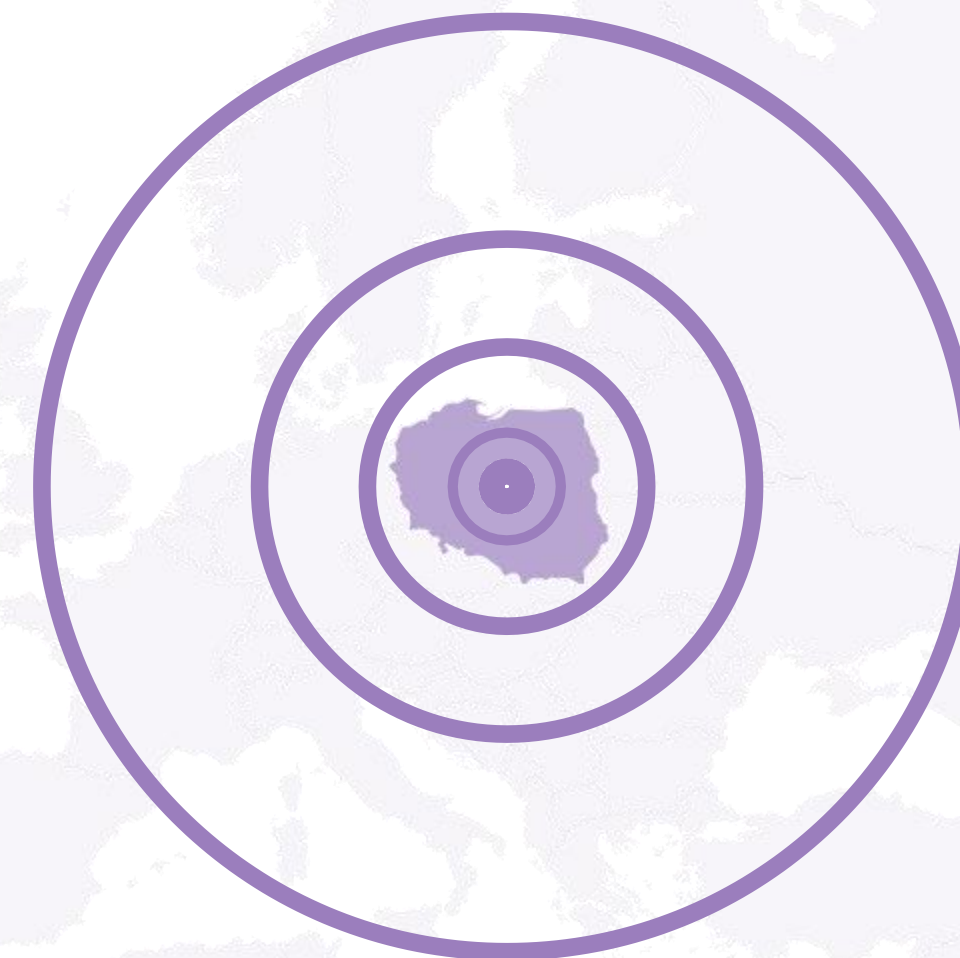
ヨーロッパの中心地

今回の新型コロナウイルスの世界的流行により、既存のサプライチェーンが破壊され、企業は戦略の見直しを迫られています。

そのため、アジアと西欧を結ぶ優れた交通インフラと欧米との良好な貿易関係を持ち、欧州のパートナー（自動車産業など）として実績を積んできたポーランドは、この新しい状況から最も利益を得ることができる国の一つと言えるかも知れません。

欧州復興開発銀行のチーフエコノミストであるベアタ・スマルジンスカ＝ヤヴォルチク教授は、「今回のウイルスによって、サプライヤーベースがいかに集中しているかが明らかになったことに加え、貿易政策に関する不確実性も相まって、グローバルなサプライチェーンを見直す必要がある」と述べています⁴。

ポーランド経済研究所では、コロナ後の企業移転の結果、ポーランドはEU加盟国の中で最も多くを得る可能性があり、その額は年間83億ドルに達すると試算しています。



4. Pandemic Is Ripping Up Supply Chains and May Boost Europe's East、ブルームバーグ

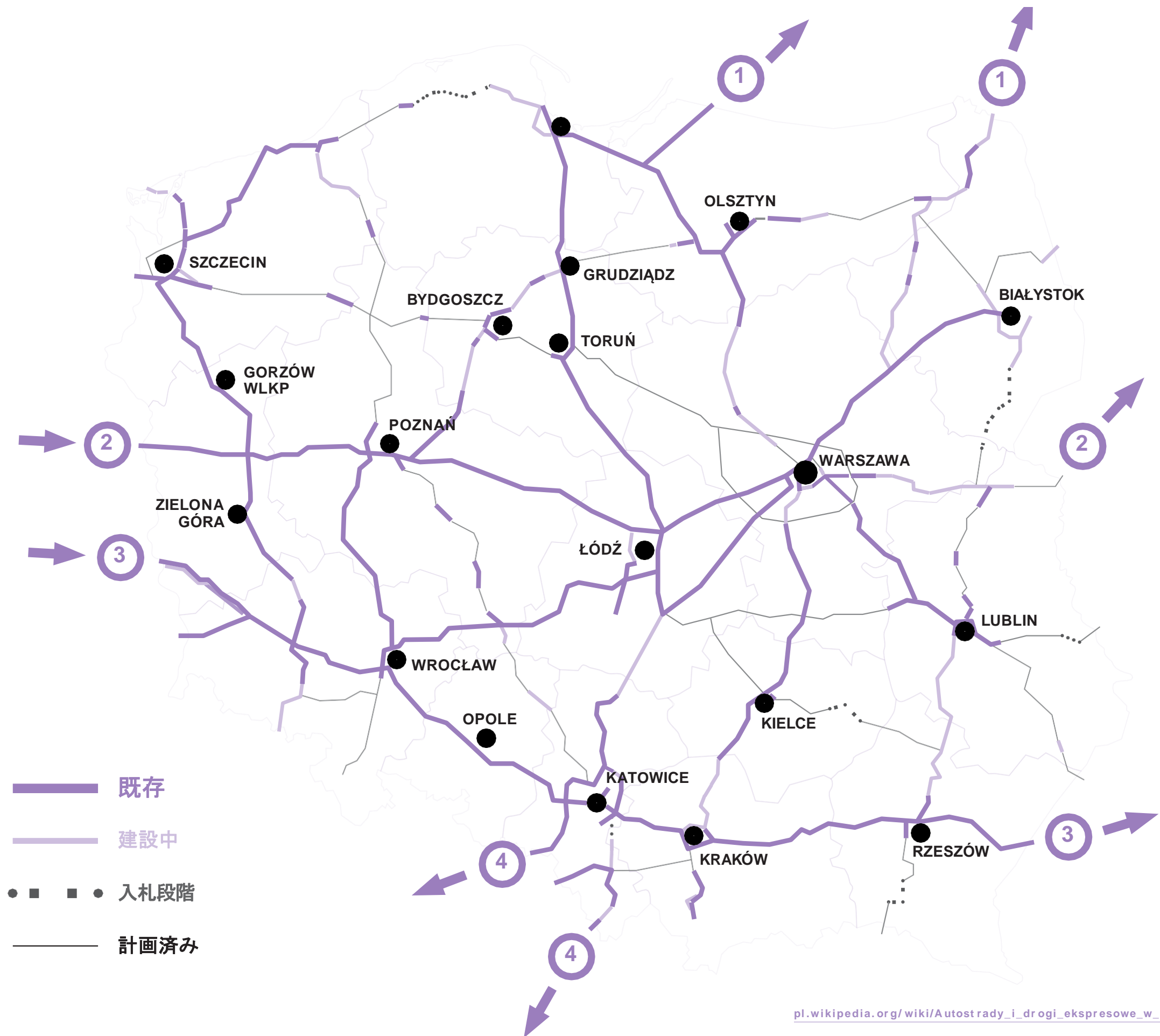
2.

貿易ルートの十字路

ヨーロッパの主要な4つの貿易回廊が輸送の大動脈としてポーランドで交差しています。

貿易ルート	経路	国数
1	ヘルシンキ-タリン-リガ- ワルシャワ/グダニスク	6
2	ベルリン ワルシャワ ミンスク-モスクワ- ニジュニ・ノヴゴロド	4
3	ベルリン/ドレスデン ヴロツワフ-カトヴィツェ-クラクフ ジェシュフ-リヴィウ-キエフ	3
4	グダニスク-グルジョンツ-トルン ウッチ-カトヴィツェ ジリナ-オストラヴァ	3

2021年9月5日現在
高速道路網



pl.wikipedia.org/wiki/Autostady_i_drogi_ekspresowe_w_Polsce



ポーランドのインターモーダルターミナル (中央統計事務所レポートより)



ポーランドは、高速道路の総距離4千キロ以上で欧州第5位、鉄道網ではEU第4位の総距離を誇っています。

2019年には、2470万トンの貨物がインターモーダル輸送を利用して輸送されています。2014年から2025年にかけて、道路建設の支出は総額1680億PLN（約370億ユーロ）、国有鉄道プログラムによる投資は、2014年から2023年にかけて760億PLN（約167億ユーロ）に達すると予想されています。



新シルクロード

3.

鉄道網

ポーランドには鉄道貨物の大動脈が3つ通っています。

- バルト海-アドリア海(RFC5 Baltic-Adriatic) 貨物回廊は、ポーランド、チェコ、スロバキア、オーストリア、スロベニア、イタリアを通る。
- 北海-バルト海貨物回廊8号(RFC8 North Sea-Baltic)は、ポーランド、ベルギー、オランダ、ドイツ、チェコ、リトアニアを通る。
- 琥珀貨物回廊11号(RFC11 Amber)は、ポーランド南東部、スロバキア、ハンガリー、スロベニアとベラルーシを結ぶ。

ポーランドは、「新シルクロード」プロジェクトの重要な担い手のひとつです。陸路の「ベルト」は中国と中央アジア、ヨーロッパを、海路の「ルート」は極東と中東、アフリカを結びます。





DCT GDAŃSK

4.

グダニスクー ヨーロッパの主要物流拠点

グダニスク大水深コンテナターミナル(DCT GDAŃSK) とグダニスク中央港は、グダニスク、グディニア、ソポトの3都市に近い将来、ヨーロッパで最も重要な物流拠点の1つになることを目指した2つのプロジェクトです。

2005年に開業したDCTグダニスクは、ポーランド最大のコンテナターミナルであり、バルト海地域では唯一の深水ターミナルです。欧州大陸で最も急成長しているコンテナ港です。また、グダニスクの中央港には、9つのターミナル、4つのターンエリア、3つのアプローチ用のフェアウェイも建設されます。最終段階では2045年までに、年間1億トンの貨物を取り扱う港になる予定です。

グダニスク





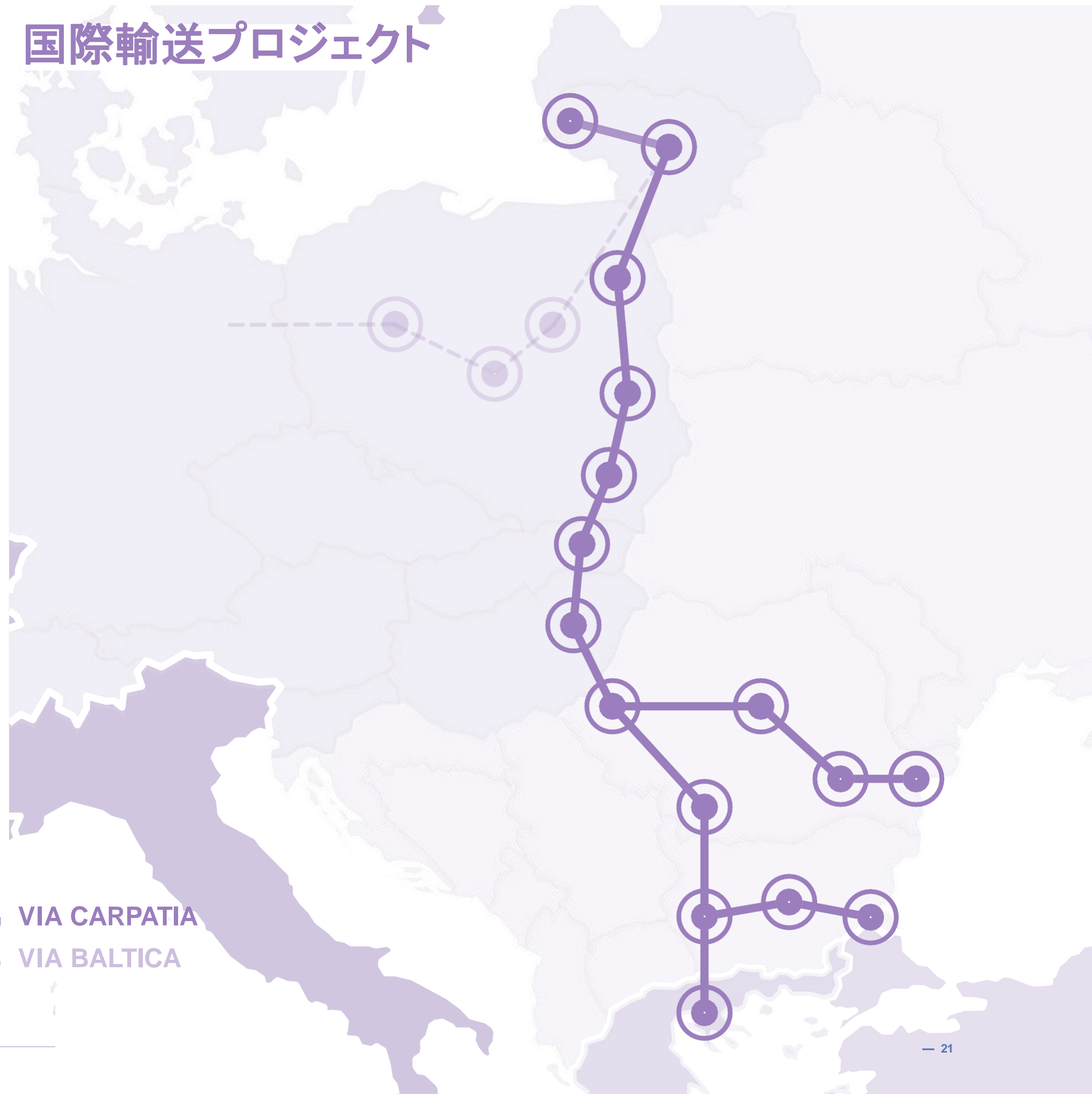
5.

国際輸送プロジェクトで重要な役割を果たす

ポーランドは、現在建設中の「Via Carpatia」及び「Via Baltica」という2つの国際ルートにおいても、重要な役割を果たしています。

1つ目のカルパチア・ルートは、リトアニア、ポーランド、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、ギリシャ、トルコを結びます。2つ目のバルト・ルートは、ポーランド、リトアニア、ラトビア、エストニアを通過します。

国際輸送プロジェクト



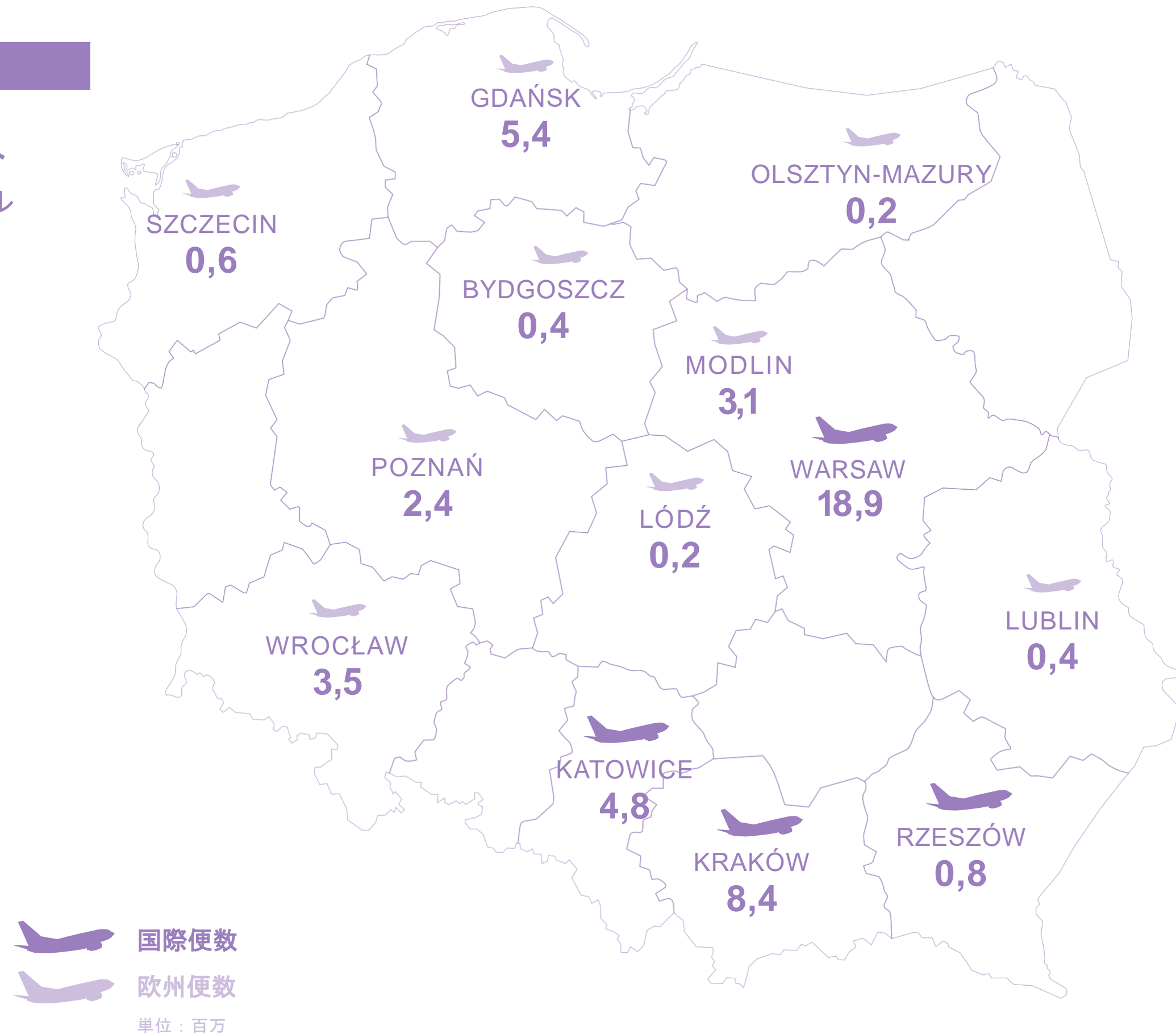
6.

高い航空便の利便性

2019年、ポーランドの空港の乗降客数は約4900万人となり、中・東欧地域で最も多い数となります。2つのワルシャワ空港（ショパン空港とワルシャワ・モドリン空港）から、約2200万人の利用者が旅立っています。

ワルシャワからの飛行時間の目安	
ワルシャワ－ベルリン	1.5 時間
ワルシャワ－ソフィア	1.5 時間
ワルシャワ－ヴァルナ	1.5 時間
ワルシャワ－パリ	2 時間
ワルシャワ－ストックホルム	2 時間
ワルシャワ－モスクワ	2.5 時間
ワルシャワ－ロンドン	3 時間
ワルシャワ－マドリッド	4 時間
ワルシャワ－北京	9 時間
ワルシャワ－ニューヨーク	10 時間
ワルシャワ－ソウル	11 時間
ワルシャワ－東京	11 時間
ワルシャワ－シンガポール	12 時間

ポーランドの空港



選ぶべき理由

その3

ポーランドの
人的資本

1.

ポーランドの教育 水準は高い

ポーランドでは、25歳から64歳までの国民のうち、92%の国民が少なくとも中等教育を受けています。

これは、OECD全加盟国の中でも最高水準であり、平均値の78%を大きく上回っています。

ポーランドの大学では約130万人の学生が学んでいます。これは、学生数の規模としてはヨーロッパで第4位です。ポーランドの高等教育システムの特徴は、理系(科学、技術、工学、数学)を専攻する学生が多いことです。



◎ 92%

中等教育以上を修了している
ポーランド国民の割合

高等教育機関と学生の数



2.

次世代への期待

2018年、15歳を対象としたPISA学習到達度調査ではポーランドがヨーロッパで3位にランキングしています。

順位	国名	得点
1.	エストニア	525,3
2.	フィンランド	516,3
3.	ポーランド	513,0
4.	アイルランド	504,7
5.	スロベニア	503,7
5.	イギリス	503,7
7.	オランダ	502,3
8.	スウェーデン	501,0
9.	デンマーク	500,3
9.	ドイツ	500,3



◎ **513** PISA学習到達度調査での
得点

3.

イノベーションを好む消費者

ポーランドで展開する企業は、新しいものが好きな消費者の市場にアクセスすることができます。つまり、頻繁にオンラインで買い物をし、技術革新にオープンで、最新の銀行ソリューションを好む消費者です。



「欧州のキャッシュレス国上位ランキング⁶」ポーランドは2位

このランキングでは、一定人口数におけるデビットカード保有者の割合、非接触型決済の頻度その他が考慮されています。



電子支払端末が使用可能

その全てで非接触型決済が可能です



PKO BP モバイル

世界で最も優れたアプリケーション
(Retail Banker International誌)



BLIK による決済数

2015年～2019年の4年間に、ポーランドの利用客は2億3500万回以上も、BLIK（ポーランドの決済システム）を使用してスマートフォンで決済しています。



REVOLUTの顧客

ポーランドは、Revolutにとって最大の市場のひとつであり、すでに100万人以上も同社のソリューションを利用しています。

merchantmachine.co.uk/top-10-cashless-countries

4.

ポーランド語を話せて？ 大丈夫だよ！

2020年、ポーランドは、英語を母国語としない人たちの英語能力を国別に評価した「EF Proficiency Index」⁷で、100カ国中16位にランクされました。

また、ABSLLレポートの分析によると、ポーランドのビジネスサービス分野では、38言語で最新のサービスが提供されています。



100カ国のうち

16位

EF 英語能力指数

7. EF 英語能力指数、EF Education First

https://www.ef.com/assetscdn/WIBlwq6RdJvcD9bc8RMd/legacy/_/_/~/media/centralefcom/epi/downloads/full-reports/v10/ef-epi-2020-english.pdf

選ぶべき理由 その4

大きな国内市場を抱え、
イノベーションに富んだ国

1.

中・東欧地域のリーダー

1996年から2017年の間に、ポーランドを含む中・東欧地域の国々では、一人当たりのGDPが114%の増加を記録したのに対して、欧州ビッグファイブの国々のGDPは27%の増加に留まっています⁸。

中・東欧諸国の人口1億5千万人のうち、ポーランド人は約4分の1を占めています。ヨーロッパでは6番目、地域では最大の経済規模を誇り、2019年の名目GDPは5270億ユーロでした。



114%

一人当たりのGDP 増加率

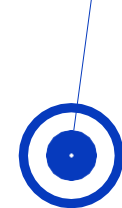
中・東欧地域 - 1996~2017

2.

プログラミングのエキスパート

ポーランドのプログラマーは世界でもトップレベルです。
2016年にはHackerRankのグローバル開発者ランキングで3位を獲得し、その3年後にはSkillValueのランキングで表彰台に上がりました。

ポーランドは中・東欧地域で最大のプログラマー人口を抱えており、その数は推定で401,000人にのぼります⁹。これは、ルーマニア(139,000人)、チェコ(130,000人)、ハンガリー(105,000人)のプログラマー人口の合計よりも多い数になります。



3位

**HackerRankのグローバル
開発者ランキング**
SkillValueのランキングで表彰台

9. Polish and CEE tech ecosystem outlook、PFR 及び Dealroom

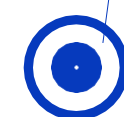
3.

スタートアップ企業の 誕生を支える

ポーランド人の起業家精神と機知に富んだ性格は、スタートアップ企業に受け継がれています。2019年¹⁰には43,000~47,000人がこの種の企業で就労していました。

その数は過去5年間で倍増しています。ポーランドのスタートアップ企業は、AIや機械学習、フィンテック、IoT、インダストリー4.0、ビッグデータなどの分野に集中しています。スタートアップ企業の40%はグローバル企業と協業し、そのうち21%のスタートアップはこれらの分野で戦略的な顧客を獲得しています。

多くのスタートアップ企業は、起業家精神の促進を目的とした財団法人 Academic Incubators of Entrepreneurship (AIP)の支援を受けて誕生しています。AIPの翼の下で成長した企業は、15万人以上を雇用し、年間売上高は280億PLN（約62億ユーロ）を超えています。



47

千人

スタートアップ企業 従事者数



2013年以降、VC投資が最も多かった中・東欧諸国

PFR・Dealroom提供

4.

超特急並みに成長

ベンチャー・キャピタル・ファンドの投資額では、中・東欧市場が欧州で最も早く成長しています¹¹。

2015年から2019年の間に、機関投資家が中・東欧の企業に注ぎ込んだ合計金額は、3億ユーロから18億ユーロに増加しています。ポーランドの継続中の投資ラウンドの数は際立っています。



11.Polish and CEE tech ecosystem outlook、PFR 及びDealroomで進行中の投資ラウンド。2013年以降、VCファンドは、合計823件のスタートアップ企業に投資している。s

このようにスタートアップ・エコシステムが急速な発展を遂げたため、近い将来、ユニコーン(評価額10億ドル以上を達成した非上場のスタートアップ)と呼ばれる我が国最初の企業が誕生することになるでしょう。

主なユニコーン候補は、DocPlanner、Brainly、Booksyです。



患者と医師をつなぐ世界最大級のプラットフォーム。DocPlannerはこれまでに、投資家から1億4050万ドルの資金を調達しています。



3億4000万人以上のユーザーが利用するソーシャルラーニングのプラットフォームで、投資家から1億4850万ドルを調達しています。



世界最大級の美容サロン予約プラットフォームで、すでに1億1870万ドルの資金を集めています。

投資家からの資金調達額

1億4050

万米ドル

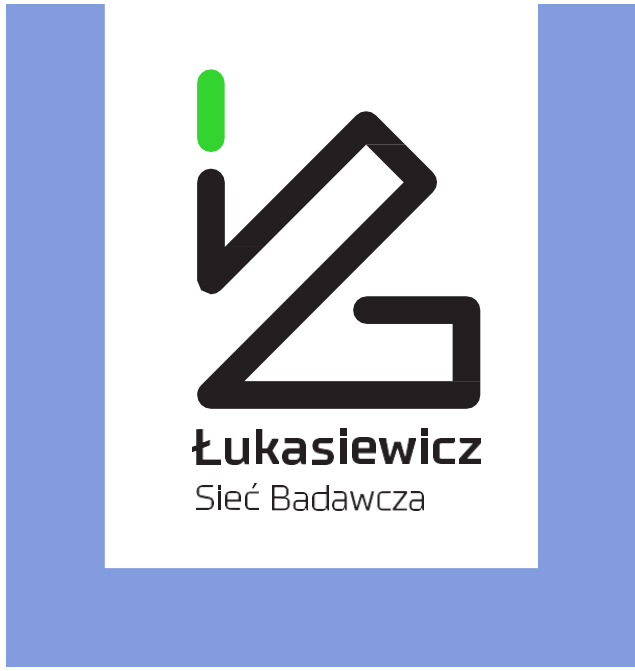
1億4850

万米ドル

1億1870

万米ドル

5.



研究開発 - ポーランドの特長

Łukasiewicz研究ネットワークは、ヨーロッパで3番目に大きな研究ネットワークです。

このネットワークは、12都市に拠点を置く32の研究機関で構成され、数百の研究施設、合計約8000人の従業員を抱えている組織です。取り扱っているプロジェクトの総コストは50億PLN（約11億ユーロ）になります。

このネットワークの構築は、ポーランドの経済を新テクノロジーとイノベーションに基づいたものにするという長期的な使命を支えています。2012年から2018年にかけて、ポーランドの研究開発費はほぼ倍増し、144億PLNから256.5億PLN(約32億から56億ユーロ)へと増えています。

ポーランドの R&D

5.8

千

研究開発拠点数

66%

2014年以降、
研究開発活動が
増加した事業体

62.7

千

R&D施設による
外部雇用者数

<https://lukasiewicz.gov.pl/en/about-us/>

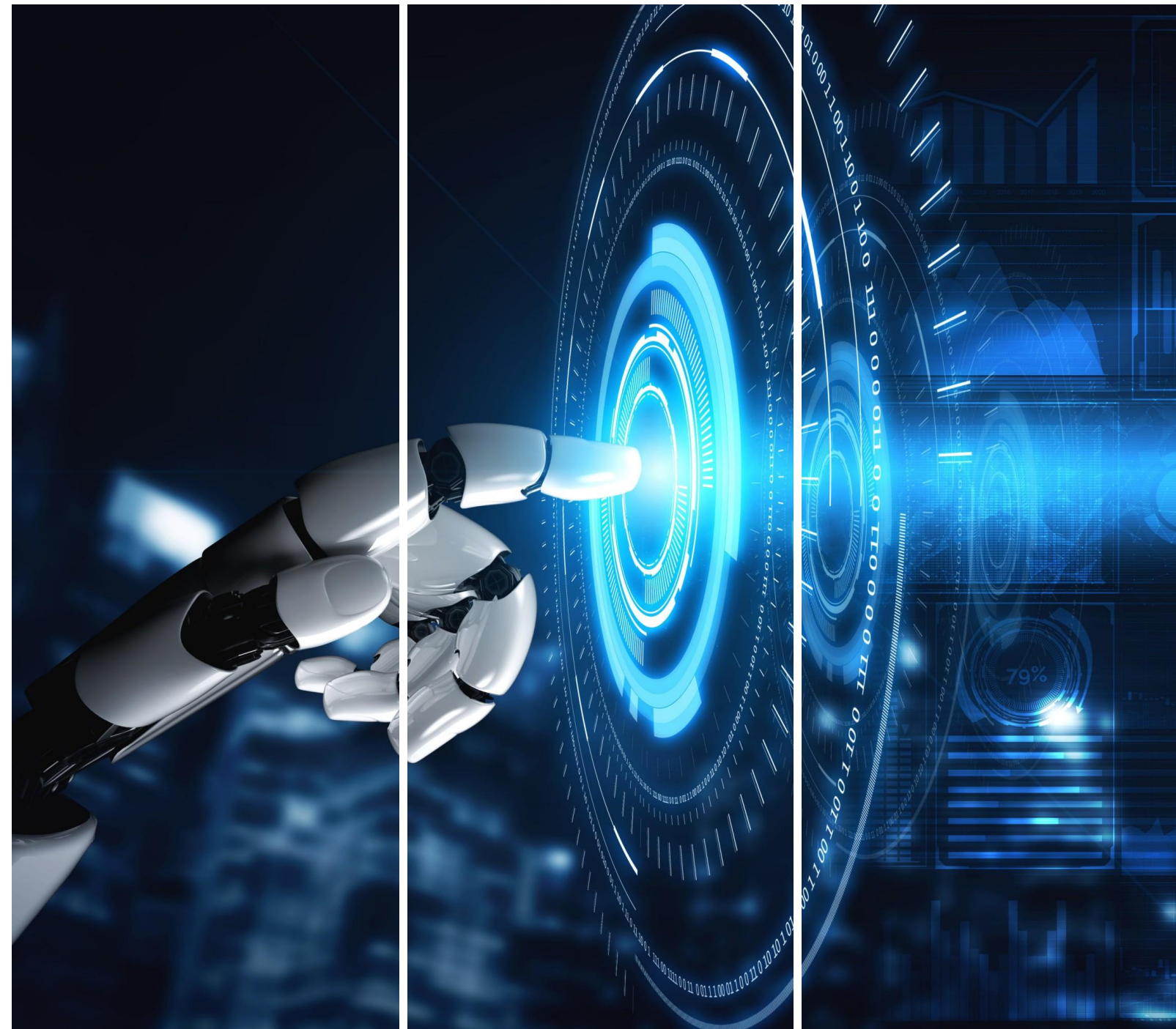
6.

スタートアップ、企業、研究機関が AI に注力

ポーランドでは、200社以上の企業(スタートアップおよび従来企業)が人工知能に投資しており、40社以上が研究開発センターとしてAI、ビッグデータ、IT製品に特化しています。

最大で260のポーランド企業が人工知能をベースにしたソリューションを生み出していると推定されています。このようなAIイノベーションへの関心は、ポーランドの大学でもはっきりと表れています。2013年から2018年の間に、6000人のポーランド人研究者が合計12,000件のAIに関する論文を発表しています。

<https://www.sztucznaitelegija.org.pl/mapa-naszej-przyszlosci/>



260

ポーランド企業

AIソリューションを
創出

12

千

AIに関する
論文件数

7.

ビッグテックは我々を信じている

ポーランドのポテンシャルは、世界最大のハイテク企業に認められています。

2020年、マイクロソフトは「ナショナル・クラウド」プロジェクトに参加し、10億ドルを投じて最新のデータセンターを建設すると発表しました。

同年、グーグルはポーランドへの巨額の投資を発表しています。同社はワルシャワにデータセンターを建設費用として20億米ドルを割り当てています。



8.

ワルシャワ — 未来都市

ポーランドの首都は、「2020/21年の欧州の未来都市」で6位にランクインしています¹²。



12. European Cities of the Future for 2020/21, fDi Intelligence
13. Real Estate Digital Dataより

ワルシャワの地区の一つであるヴォラを例に取っても、60万平米のオフィススペースが建設中です¹³。



Google、Microsoft、Samsung、Accenture、Mars、Citibank、Goldman Sachs、Rocheなどの企業がワルシャワにビジネスセンターやR&Dセンターを設置しています。



Googleの7つの国際キャンパスのうちの1つがワルシャワにあります。



選ぶべき理由

その5

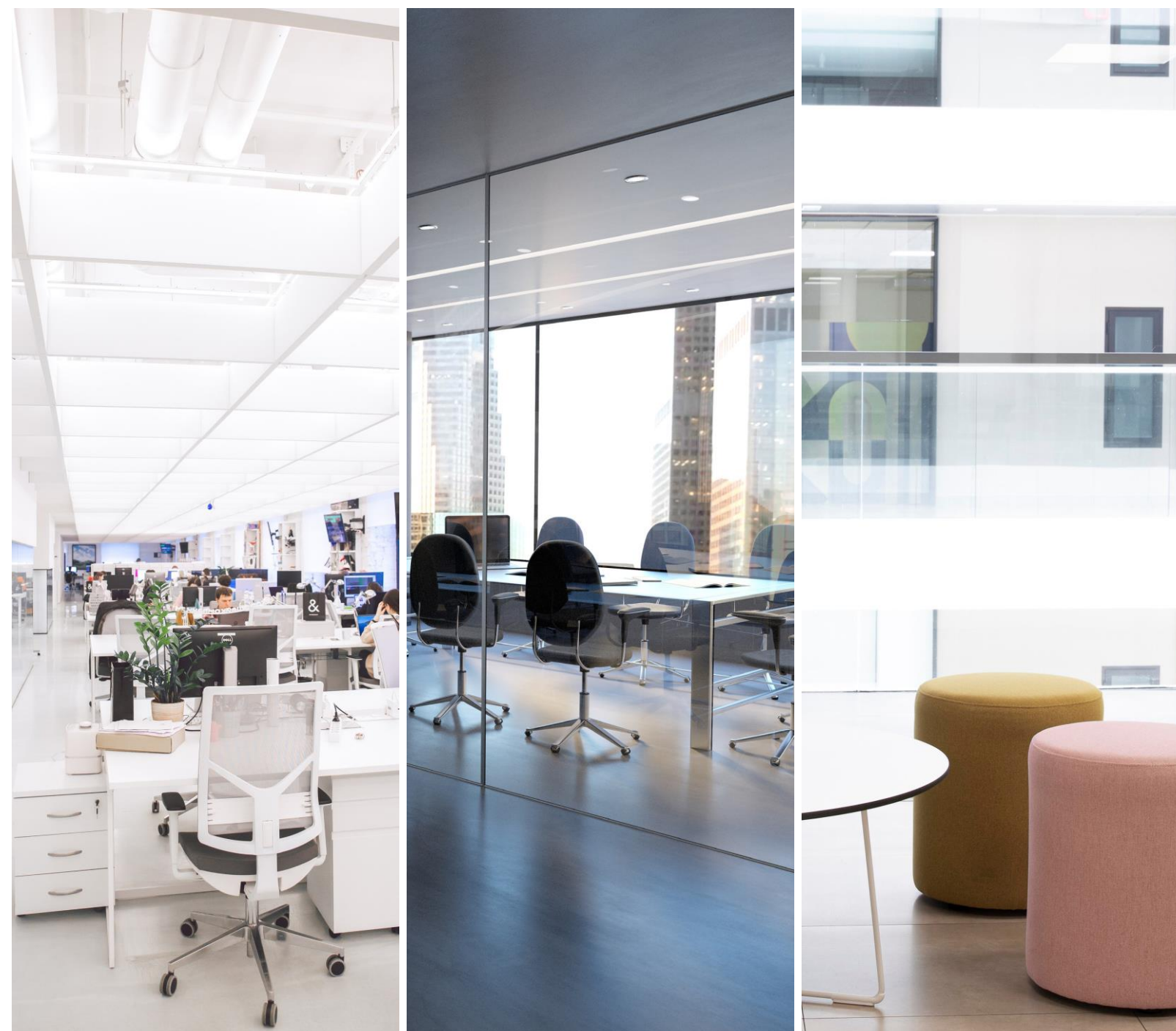
多くの産業分野で専門知識を
持っている

1.

ビジネスサービス 産業

ポーランドでは、2008年から2020年にかけて、最新のビジネスサービス産業が雇用した人数は5万人から33万8000人に増加しています¹⁴。

2019年、ポーランドのビジネスサービス分野の推定輸出額は198億米ドルに達しています。ポーランドのサービス分野には、フォーチュン・グローバル500の95社が投資しています。



338
千人
ビジネスサービス業
就業者数

198
億 米ドル
2019年の
推定輸出額

14. Business Service Sector in Poland 2020, Association of Business Service Leaders (ABSL)

2.

自動車 産業

2017年、ポーランドの自動車メーカーの総収益は375億ユーロでした。また自動車販売、部品や付属品の販売、その修理に携わる企業の収益は合計で460億ユーロでした。

2018年には、220万8千台の商用車が生産されており、欧州ではポーランドで6番目に多く生産されています。2017年、自動車産業では47万1、600人のポーランド人が雇用され、フォルクスワーゲン、FCA、ダイムラー、トヨタなどの大手自動車メーカーはポーランドで生産工場を稼働させています。



375

億ユーロ

自動車メーカー
の収益

460

億ユーロ

自動車産業全体
の収益

3.

ゲーム 産業

2021年2月、ワルシャワ証券取引所に上場しているポーランドのゲームメーカーの資本金総額は365億PLN（約81億ユーロ）を超えました。

「The Witcher」や「Cyberpunk 2077」に関するカルト的なゲームシリーズを制作したワルシャワのCD Projektは、ポーランドで最も時価総額が高い上場企業です。2021年2月末時点で、その時価総額は270億PLN（約60億ユーロ）を超えました。



Cyberpunk 2077 | CD Projekt RED



Frostpunk | 11 Bit Studios



Dying Light | Techland

81

億ユーロ

ゲーム業界の
2021年の総時価総額

60

億ユーロ

CD Projekt REDの
2021年2月時点の時価総額

4.

航空 産業

ポーランドには140社以上の航空関連企業があり、2018年の総売上額は19億3000万ユーロに達しています。

産業全体で約12万人を雇用しています。

ポーランドには、世界最大の航空機エンジンメーカー5社が生産拠点を置いています。ルフトハンザ、GEアビエーション、シコルスキー、UTCエアロスペース・システムズ、オーガスタウェストランドです。ミエレックにあるロッキード・マーチンの工場は、アメリカ国外では最大の生産施設となります。



140

航空関連企業数

19.3

億ユーロ

2018年の
売上総額

5.

再生可能エネルギー産業

2013年から2019年にかけて、ポーランドの低炭素エネルギー投資に約480億PLN（106億ユーロ）が割り当てられていました。これにより、8.6ギガワットの容量の再生可能エネルギー発電設備に融資されています。

この一年、太陽光発電の設置容量は176%増加しています。ポーランドは、新規設備容量の増加率において欧州で第5位となっています。2020年の最初の4ヶ月間で、16の再生可能エネルギー分野に対する投資プロジェクトが開始されています。



10.6
億ユーロ
低炭素エネルギー
投資金額

8.6
ギガワット
発電可能
電力量

彼らは来て、
見て、

そして投資をした。



LG CHEM

LG Chemは、2005年ポーランドに進出、偏光フィルムの製造設備に投資して以来、2011年にはエンジニアリング・プラスチックにも事業を拡大しています。

「2015年、EV用バッテリーの新工場の立地を検討していた際、ポーランドのヴロツワフ・コビエルジツェ地区が候補地のひとつとなっていました。最終的には、ポーランド政府の支援もあり、2016年にビスクピツェ・ポドグルネに最初のEVバッテリー工場の建設が始まりました。

以来、当工場はLG Chem最大のEV用バッテリー製造拠点となっただけでなく、ポーランド最大の企業の1つとなり、約7000人に安定した雇用を提供し、地域の成長を支えています。LG ChemのポーランドにおけるEV事業は、操業開始から4年を経て、欧州初かつ最大のEVバッテリーハブを構築し、他の多くの投資を呼び込み、ポーランドに最先端技術をもたらし、ポーランドをEV業界のリーダーにしました。」

— Yong Girl Lee

LG Chem ヴロツワフ・エネルギー社 ビジネスサポート部門リーダー



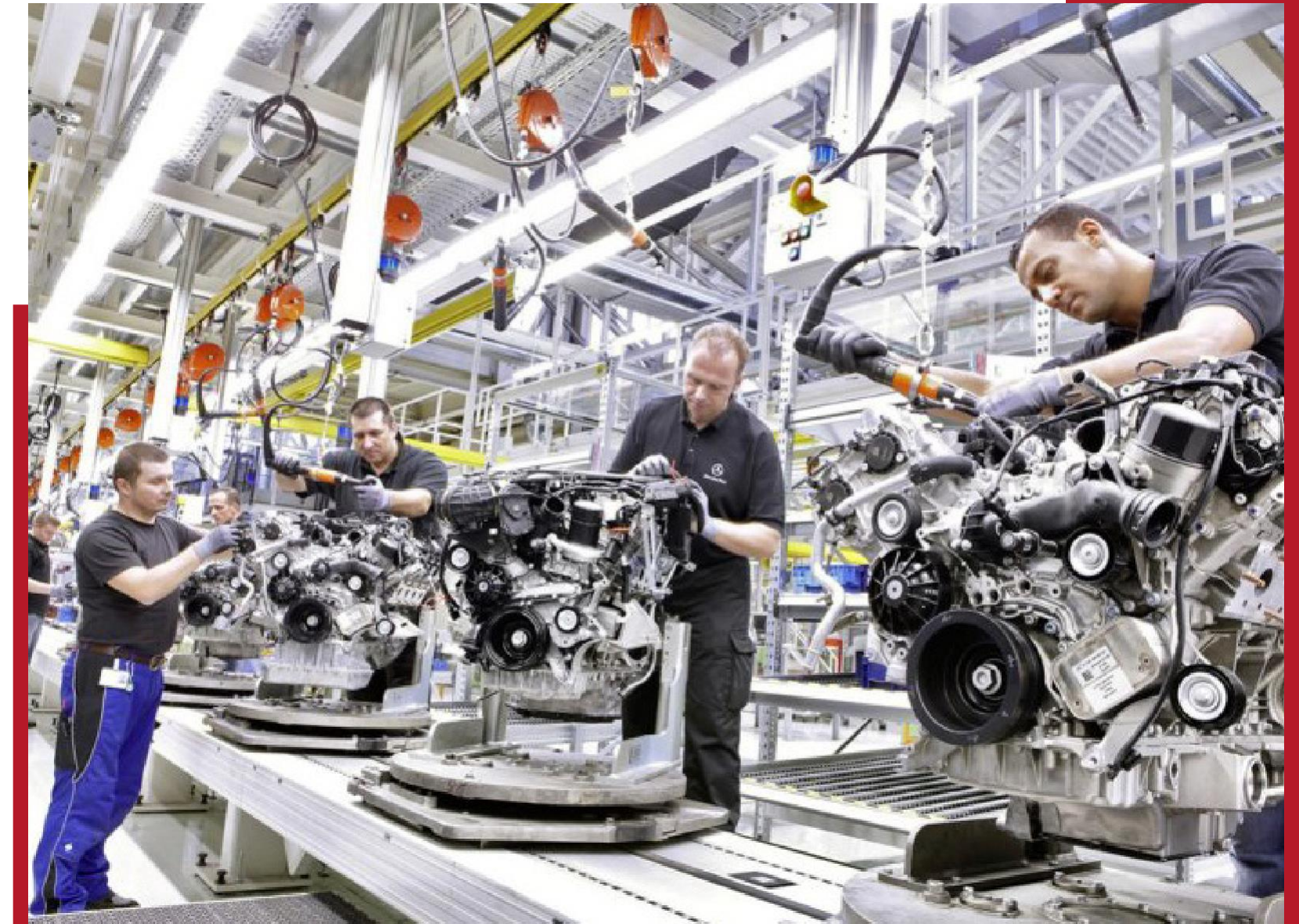
DAIMLER

ポーランドのメルセデス・ベンツの新エンジン工場は、メルセデス・ベンツ・カーズ部門の成長戦略の要です。

ヤヴォルにある新拠点では、高効率のエンジンを車両工場に確実に効率よく供給することができます。

Jヤヴォルは、2016年にメルセデス・ベンツ・カーズが検討した中・東欧7カ国35拠点の中から選ばれました。この新しいエンジン工場は、世界のパワートレイン生産における革新的なインダストリー4.0技術の適用基準を確立しています。ハイテクでCO2を排出しないこの工場では、メルセデス・ベンツの実証済みの最高品質基準を満たす、ハイブリッド車用の従来型エンジンと内燃機関を生産しています。

低シレジア地方の投資に有利な環境、ポーランド政府や地方自治体との優れた協力関係、PAIHやWSSEなどの機関の支援、そして忘れてはならないのは、高い技能を持つ労働者たちの存在が、2つ目の投資につながっています。それこそが2019年1月に発表されたバッテリー工場であり、2020年末までに生産を開始する予定になっています。最終的には1300人がこの2ヶ所のハイテク工場で働き、世界中のメルセデス・ベンツの乗用車向けに高効率のエンジンとバッテリーを生産することになります。」



Mercedes-Benz

— エバ・ワブノ＝ファレンスカ (PhD)

Mercedes-Benz Sp. z o.o社 PR, MBCE,
コーポレート・コミュニケーションおよび渉外担当部長

Poland.

問い合わせ先

THE POLISH INVESTMENT AND TRADE AGENCY

Krucza St. 50

00-025 Warsaw

PAIH サポート: + 48 22 334 9999

invest@paih.gov.pl